

# 新規事業評価調書

## 【急傾斜地崩壊対策事業】

### 苫編（1）地区

県土整備部

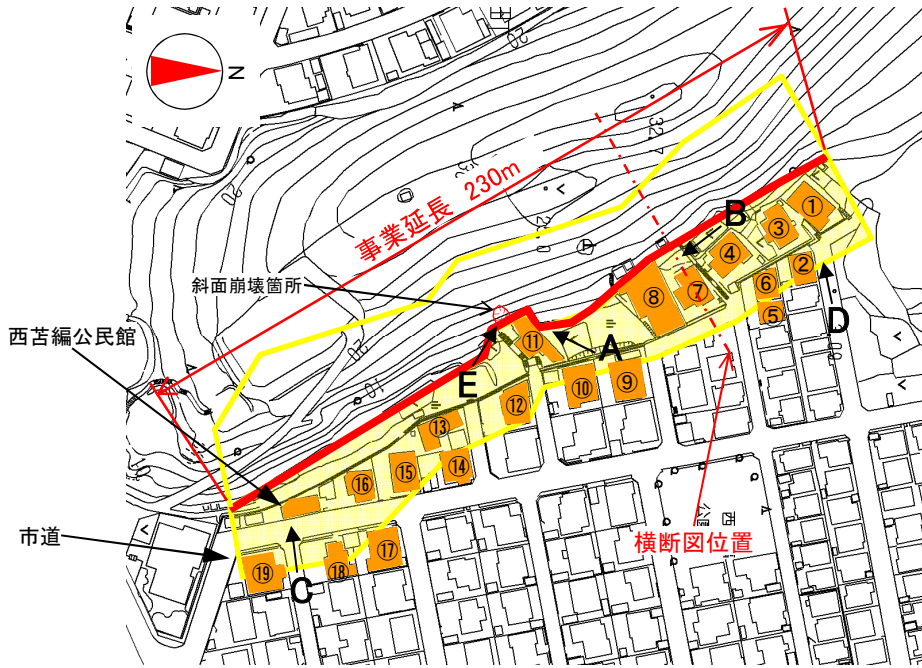
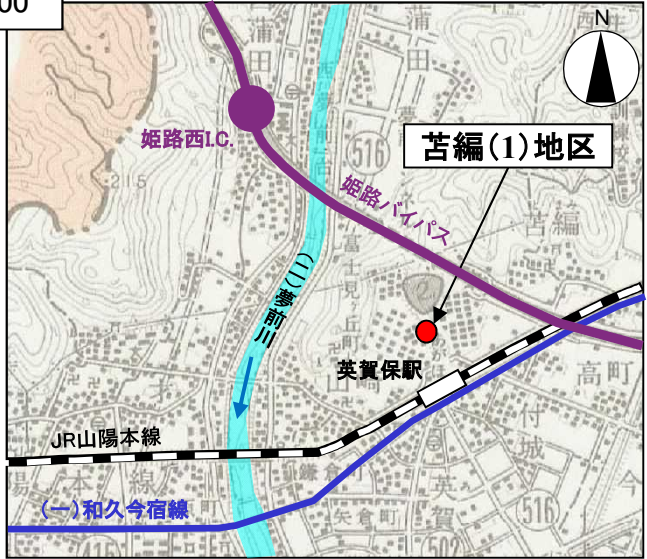
土木局 砂防課

## 投資事業評価調書（新規）

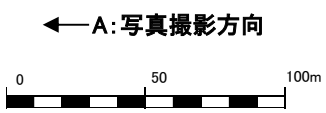
部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 (主幹 (防災担当) 小倉正大)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊対策 とまみ 苫編(1)地区	姫路市 とまみ 苫編	1.2億円	—	平成29年度	平成31年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、斜面崩壊の危険性が高いことから、土砂災害警戒区域となっており、斜面の下部には人家19戸、公民館、市道がある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、急傾斜地崩壊対策を実施する。</p>			<p>擁壁工 延長230m 高さ2.0m～3.0m</p> <p>[負担割合] 国・県：各40.0% 地 元： 20.0%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 苫編地区にある斜面崩壊の危険性が高い箇所（JR山陽本線英賀保駅より北へ約0.2km）である。</p> <p>② 斜面は荒廃しており、崩壊箇所も認められ、危険な状態である。</p> <p>③ がけ直下に人家および避難所が連たんしており、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>① 警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>② 地元要望が強く、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業の執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	① 擁壁の施工にあたり、切土面を最小限にとどめ、既存木を可能な限り残し、環境保全に努める。					
(4) 優先性	① 保全対象には人家19戸、西苫編公民館、市道がある。また、斜面には崩壊跡がみられ荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					



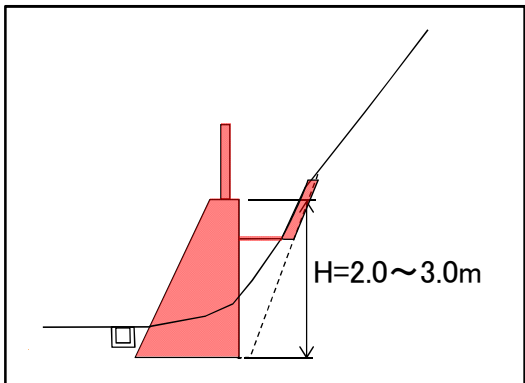
位置図  
1:35,000



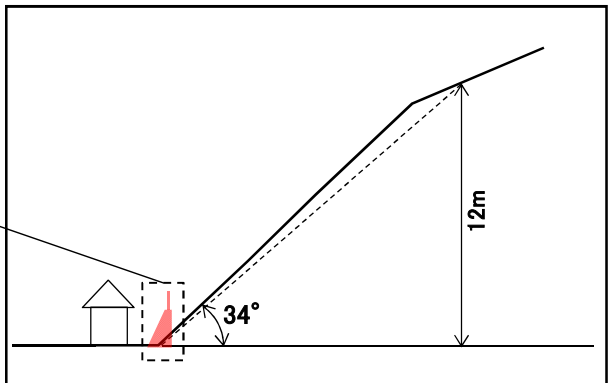
凡例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:red;"></span>	事業実施箇所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border:1px solid yellow;"></span>	土砂災害警戒区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:orange;"></span>	保全人家等



構造図



横断面図



箇所名	苦編(1)地区
-----	---------

# 急傾斜地崩壊対策事業

## 【苫編(1)地区(姫路市)】

### ● 全景と保全対象



A 保全対象 がけ下の人家



B 保全対象 がけ下の人家



斜面と保全対象の関係  
がけ直下に保全対象人家がある

### ● 事業工程

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
詳細設計	■■■■■		
土地使用契約等		■■■■■	
擁壁工		■■■■■	■■■■■



# 急傾斜地崩壊対策事業

## 【苦編(1) 地区(姫路市)】



C 保全対象 西苦編公民館



D 保全対象人家



E 斜面崩壊箇所